



出小だより

出雲崎小学校だより No.11
令和8年3月19日



<http://izumo-es.izumozaki.ed.jp/>
E-mail izumo-es@izumozaki.ed.jp

1年間のご支援に感謝を込めて

校長 _____

『自ら取り組む みんなでつくる レッツチャレンジ—自分らしく輝こう—』をスローガンに、本年度も魅力ある学校を目指し、職員一丸となって教育活動に取り組んでまいりました。

この一年、子供たちは学習や行事、日々の学校生活の中で多くのことに挑戦し、それぞれに力を伸ばしながら大きく成長してきました。友達と支え合い、励まし合いながら前向きに歩む姿に、頼もしさと確かな成長を感じています。

こうした子供たちの成長の背景には、保護者・地域の皆様の温かい見守りと力強いご支援があります。学校の教育活動にご理解をいただき、さまざまな場面でお力添えを賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

皆様の深い愛情に支えられ、子供たちは大きく、たくましく育っています。これからも学校と家庭、地域が力を合わせ、子供たちの健やかな成長を支えてまいりたいと考えております。本年度のご理解とご協力に、改めて厚く御礼申し上げます。

6年生ありがとう集会 ～感謝とエールを送り合う時間～



卒業を迎える6年生に感謝の気持ちを伝える「6年生ありがとう週間」を行い、3月5日（木）は「6年生ありがとう集会」を実施しました。1年生から5年生までの子供たちが、プレゼントやゲーム、卒業生の思い出スライドショーなどで6年生へ感謝の気持ちを伝える、心温まる時間となりました。

本年度の6年生は、明るく朗らかな雰囲気ですべてを包み込み、笑顔あふれる学校生活をつくってくれました。また、様々なことに進んで挑戦する姿や、下級生に優しく寄り添う姿も多く見られ、頼れる存在として学校を支えてくれました。

集会では、在校生からの感謝とともに、6年生から在校生へ温かなエールが送られました（写真）。互いの思いが伝わる、年度末にふさわしい温かなひとときとなりました。

入賞おめでとう

<新潟県硬筆書き初め大会>

【特選】

1年 ____ さん ____ さん
2年 ____ さん ____ さん

【準特選】

2年 ____ さん

<新潟県書き初め大会>

【準特選】

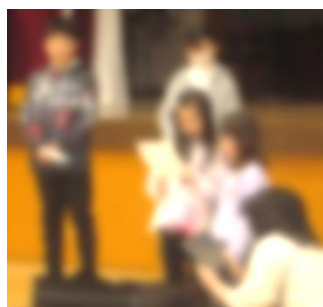
4年 ____ さん
6年 ____ さん
6年 ____ さん



- 7日(火) 新任式・始業式 6年生入学式準備
- 8日(水) 入学式 給食なし
- 9日(木) 1年生3限下校 2-6年給食開始
- 10日(金) 1年生3限下校
- 13日(月) 1年生3限下校 発育測定聴力検査①
- 14日(火) 1年生3限下校 発育測定聴力検査②
- 15日(水) 1年生給食後下校
- 16日(木) 1年生給食後下校 PTA 全校委員会
- 17日(金) 全校給食後下校 町教育研究会総会 民生委員あいさつ運動
- 20日(月) 1年生給食後下校
- 21日(火) 1年生給食後下校
- 22日(水) 地域子供会
- 23日(木) 6年全国学力学習状況調査(国語・算数)
- 24日(金) 学習参観 PTA 総会 学年懇談
- 27日(月) 交通安全教室
- 28日(火) 交通安全教室予備日 1年生を迎える会
児童の自宅確認第一日目 全校5限放課
- 30日(木) 歯科検診
児童の自宅確認第二日目 全校5限放課



ありがとうもっとくんー小さな命の卒業ー



本校で長く子供たちと過ごしてきたモルモット「もっとくん」が、学校を「卒業」することになりました。6年生が1年生の頃に迎えて以来、下級生へと大切に受け継がれながら、子供たちの身近な存在として親しまれてきました。しかし高齢となり衰弱も見られるようになったことから、学校での飼育を続けることが難しくなりました。この3月をもって学校を離れ、1年生担任の家庭で引き取られ、静かに過ごすこととなります。

もっとくんは子供たちに、動物を飼う喜びだけでなく、世話を続ける大変さや命の温かさ、生き物を思いやる心など、多くの大切なことを教えてくれました。

その感謝の気持ちを込め、3月には子供たちの手による「もっとくん卒業式」が行われました。代表児童が心のこもったメッセージを送り、私からは卒業証書を手渡しました。この式は児童有志の実行委員が企画・運営し、全校で温かく見送る時間となりました。なお、これまでの飼育にあたっては、地域の皆様からお寄せいただいた後援会会計より、えさや飼育用品などの費用を支出してきました。地域のご支援のおかげで、子供たちは長い間もっとくんと共に過ごし、命の尊さを学ぶ貴重な経験を重ねることができました。深く感謝申し上げます。小さな命とともに過ごした経験は、子供たちの心の中に残り続けることでしょう。